13日（木）

「南無阿弥陀仏のひびき」

鶴見（つるみ） 晃（あきら）（同朋大学教授）

1971 年、静岡県に生まれる。大谷大学大学院博士後期課程修了。真宗大谷派（東本願寺）教学研究所所員を経て、2020 年 4 月より同朋大学文学部仏教学科准教授。2021 年 4 月より同大学教授。共著、論文に『書いて学ぶ親鸞のことば 正信偈』『書いて学ぶ親鸞のことば 和讃』（東本願寺出版）、「教如上人と東本願寺創立―その歴史的意味について―」「親鸞の名のり「善信」坊号説をめぐって」「親鸞の名のり(続)「善信」への改名と「名の字」－」など多数。

14日（金）

「助産師の視点から いのちに寄り添うということ」

岸畑（きしはた） 聖月（みづき）（株式会社 With Midwife CEO/ 助産師）

1991 年生まれ。香川県出身。14 歳での闘病の経験と、ネグレクトを目にしたことから助産師を志す。助産学と経営学を学ぶため京都大学大学院へ進学。卒後は助産師として年間 2,000 件以上のお産を支える産科で臨床を経験。2019 年に株式会社 With Midwife を設立。現在も、臨床経験を継続しながら経営に携わり、その経験を生かして公益財団法人大阪産業局女性起業家応援プロジェクトのプランニングマネージャーも務めている。

15日（土）

「聞（もん）・問（もん）・開（かい）」

乾（いぬい） 文雄（ふみお）（滋賀県湖南市 正念寺 住職 / 大谷中学・高等学校 講師）

1964 年生まれ。京都教区近江第 5 組正念寺（滋賀県湖南市）住職。大谷中学・高等　学校講師（宗教・英語）。毎月発行の『同朋新聞』５面「親鸞聖人にであう」欄の連載を担当されている。その他、東本願寺出版の出版物に多く執筆として携わる。

16日（日）

「おのおのみな一等なり ―浄土に照らされて―」

荒山（あらやま） 信（まこと）（名古屋市昭和区 恵林寺 住職）

名古屋教区第３０組恵林寺住職。同朋会館教導。名古屋刑務所教誨師。
共著に『字の大きな法話集』、『ポケット法話集』など、東本願寺出版の出版物に多く執筆として携わる。

17日（月）

「 生き方、逝き方を問う～命の終焉の現場から～」

玉置（たまおき） 妙憂（みょうゆう）（看護師/僧侶/スピリチュアルケア師/ケアマネージャー/看護教員）

東京都中野区生まれ。専修大学法学部卒業。その後、看護師、看護教員の免許を取得。
夫の“自然死”という死にざまがあまりに美しかったことから出家。高野山にて修業をつみ高野山真言宗僧侶となる。現在は、現役の看護師としてクリニックに勤めるかたわら、院外では、非営利一般社団法人大慈学苑代表として活動している。

主 催（会場）

真宗大谷派（東本願寺）

桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町 47

☎ ０５９４－２２－０６５２

✉ kuwanabetsuin@gmail.com

https://mie-betsuin.com/

◆桑名駅より徒歩で約１２分です。

◆お車でお越しの方は、係りの誘導に従って駐車して下さい。